

# 品川郷土の会 会報

令和3年(2021)9月  
復刊第117号

発行人坂本道夫  
編集人野口健夫

## 第464回例会

新型コロナ再燃による緊急事態宣言発令により7月24日(土)開催予定の第464回例会を9月25日午後開催しました。緊急事態宣言が再度発出されましたが、ワクチン接種が終わっているため、延期せず時間を短くして開催しました。霧雨模様でしたが、11名の方が参加しました。演題は会報116号で紹介した大井地区映画館の続編です。

### ～ 品川区・大井地域映画館の今昔 ～ 副会長 野口健夫

現在、大井地域には、南大井の「キネカ大森」しかないが、かつては隆盛を極めていた。今回の例会では、大井町の映画館がどのように変遷したかを、紹介した。荏原、品川などの地域に関しては、土地勘がなく曖昧なので割愛し、大井地域だけとした。講師資料の外、坂本会長所蔵資料を閲覧コピーした。当日一木会員より品川地区資料の情報提供があった。

#### 1. 大井町地域大正期の映画館

1920年(大正9年)末、池上通り沿いの商店街で金融機関が多かった、大井町字倉田3412に大井地域最初の映画館「大井館」が開業した。



大井館

1922年(大正11年)7月1日に三ツ又通りのJR側大井町字鐘ヶ淵3492番地(現カクヤス付近)に「大井電気館」が開業した。

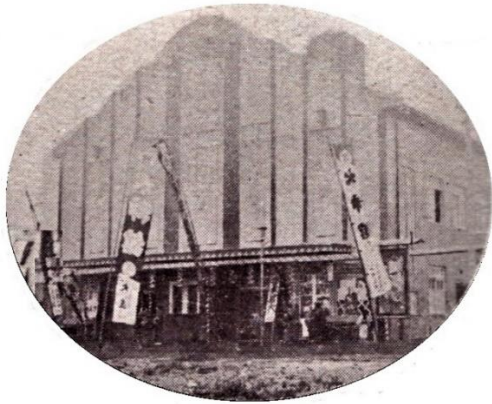


大井電気館

電気館は東京でも稀にみる、換気設備、衛生設備、音響設備、座席配置が行き届いた館

で従業員のもてなしも最高級だった。

1923年(大正12年)、櫻新道沿いの大井町字水神下2099番地(現南大井6丁目)に「水神館」が開業した。



水神館

1925年(大正14年)7月、水神館が株式会社組織から個人経営になり、建物はそのまま「東郷館」に名称変更し、大正期の3館体制が整った。



東郷館

## 2. 大井町地域昭和戦前の映画館

昭和に入ると、浅草電気館の系列だった大規模映画館「大井電気館」が系列か経営の変更で建物はそのまま「大井富士館」と名称変更されて存続した。



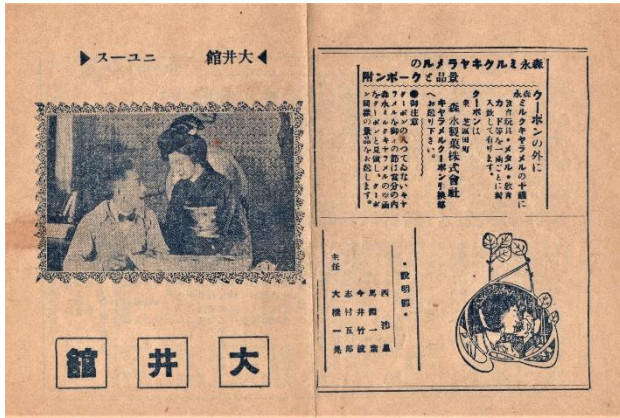
大井富士館

その頃、大井町字鐘ヶ淵3606番地に「大井キネマ」(岩本米菓傍)が開業した。その後、時期は不明であるが大井町字立会原495番地(仙台坂上)に「大井昭栄館」や立会原500番地に昭栄館の姉妹館として「大井映画座」が開業し、戦前の6館体制が整った。



大井昭栄館





1930年昭和5年 大井館ニュース



1930年昭和5年大井富士館「大井富士館週報189号」



1939年頃(昭和14年頃)大井映画座「大井映画座ニュース75号」

### 3. 戦後の情況

戦災で多くの映画館も罹災焼失したが、大井昭栄館は罹災を免れ戦後再開し、1950年(昭和25年)までに、大井鎧町3608番地

の大井武蔵野館が復活・開業した。

1953年(昭和28年)になると、朝鮮動乱特需もあって復興が進み、大井立会町543の大井スズラン座、大井倉田町3333番地の大井セントラル劇場、大井倉田町3413番地の大井映画劇場が開業し、映画館は大井町駅西口3館、東口2館の5館体制となった。



1) カメラの森商会棟012-大井本町通り商店街。大井映画館?てはカザランカと女海賊アング上映中。(昭和20年中頃)

### 大井映画劇場



大井武蔵野館(リニューアル前)

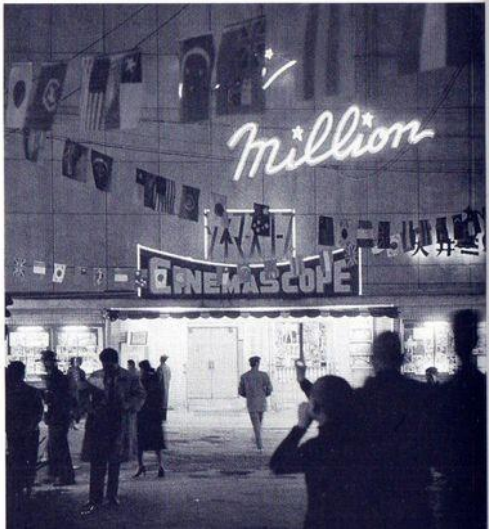


大井スズラン座(中央奥左手)



地に大井武蔵野館と系列の大井ロマン 2 館が再び進出 2 館体制が復活した。

1960 年(昭和 35 年)までには、東急大井町線沿いの闇市跡が整備され、大井権現町 3699 番地に、大井ミリオン座と大井東映の 2 館が開業し、7 館体制となった。この時期が、大井地域の映画館の最盛期である。



大井ミリオン座



大井武蔵野館・大井ロマン



1975 年(昭和 50 年) 大井東映入場券



大井ロマン閉館後の大井武蔵野館  
(大井ロマンはカラオケボックスに転業)

その後テレビの普及に伴い映画そのものが衰退し、1973 年(昭和 48 年)には、大井ミリオン座、大井東映、大井武蔵野館、大井セントラル劇場の 4 館だけとなった。

さらに衰退が進み、1980 年(昭和 55 年)には、大井ミリオン座、大井東映の 2 館だけとなったが、間もなく再開発で大井ミリオン座、大井東映の 2 館が閉館し、当地の映画館が消失しかかったが、1981 年(昭和 56 年)旧

1984 年(昭和 59 年)3 月 30 日、南大井 6-27-25 西友大森内に新しい様式の 3 劇場を持つキネカ大森が開業し、3 館 5 劇場体制になったが、1989 年(平成元年)大井ロマン座が閉館し、2 館 4 劇場体制になった。

1999 年(平成 11 年)1 月 31 日に大井武蔵野館が閉館され、現在はキネカ大森だけ、現在も存続、営業している。

「ブルー劇場」が載せてあるが、これらは映画館でなく演芸館やショー劇場である。



現在のキネカ大森玄関(2021年8月)

### おわりに

荏原地区はチラシのコピーを紹介したが、地域の方には懐かしかったようである。品川地区や荏原地区は別途別の機会に、地元の過去を知る適任者による講演を期待したい。

また、不足部を補う手持ち情報を提供いただければ更に、詳細な内容に充実させた伝承資料になるであろう。



1955年頃(昭和30年代)大井映画劇場ニュース



野口講師



1988年頃(昭和63年頃)の武蔵野館通信

巻末に紹介した映画館全部の位置を昭和7年時点の地図に落とし込んで紹介した。地図上に演芸館として「春好館」と「京浜

### [参考文献]

1. 1923年(大正12年)、鳥居龍蔵監修『大井町誌』
2. 1926年(大正15年)、藤井正宗編纂『大井町名鑑』
3. 1930年(昭和5年)、内外映画事業調査研究所『日本映画事業総覧 第4回(昭和5年版)』国際映画通信社
4. 1932年(昭和7年)、大井町役場編纂『大井町史』
5. 日本映画製作者連盟配給部『映画年鑑 各年版別冊 映画館名簿』キネマ旬報社 他



## 当会関連団体などの動向

### 「品川区の昭和」編纂作業進捗状況

書店チラシや新聞折り込みで紹介され、前号でも紹介した、坂本会長監修「写真アルバム 品川区の昭和」は、現時点で念校が終了しています。特に大きな変更が無ければ予定通り 10 月中旬に発刊されるでしょう。

### 品川区立品川歴史館特別展



### 産経新聞書評欄



以前、会報の書評欄で紹介した『凸凹を楽しむ 東京スリパチ散歩』について俳優寺田農による書評が産経新聞書評欄に掲載されました。

## 城南郷土史協議会例会

9 月 15 日午後荏原第五センター会議室で開催され、会則などを討議しました。坂本会長と野口副会長が参加しました。

## 郷土・郷土史関連図書情報

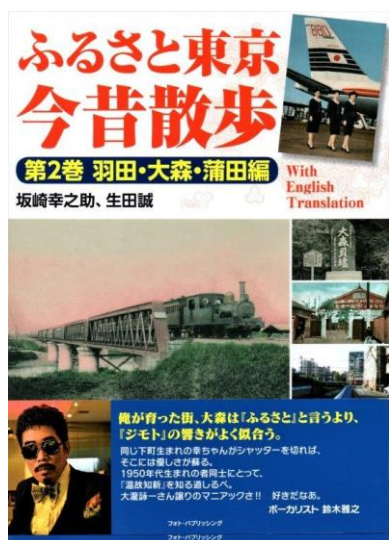
地元や郷土史に関連する新刊図書を紹介します。興味のある方は、書店等で購入するか、近くの図書館で閲覧下さい。なお、区内図書館は事前に COVID19 での閲覧制限を確認の上お出かけください。

### 1. ふるさと東京 今昔散歩 第 2 巻 羽田・大森・蒲田編

4ヶ月前に店頭並び気にはしていましたが、標題が大田区なので見過ごしていました。著者が The Alfee 坂崎幸之助で、推薦者が蒲田出身のラッツ&スター鈴木雅之なので標題に気を遣った結果、内容と乖離したようです。実際には、大井町駅、鈴ヶ森、鮫洲、大井の料亭、大井の商店街など、大井、東大井、南大井地区の情報が含まれています。標題に偽りありの本です。「品川区の昭和」と合わせて見ると興味深い写真があります。

著 者：坂崎幸之助・生田誠  
出版社：フォト・パブリッシング  
判 型：B6 判  
頁 数：96 頁

価格：1650円(税込)  
発売日：2021年5月1日  
ISBN：978-4-8021-3243-5



片田舎の武蔵野は関東随一の大国だった。  
文武両道の才人、太田道灌が江戸城を築城  
…など

Part. 4 東京で生まれた産業・文化  
開国要求への抵抗、「お台場」の由来は幕末  
にあった …など



## 2. 東京のトリセツ

### 地図で読み解く初耳秘話

地形、交通、歴史、産業…あらゆる角度から東京都を分析した本。東京の知っているようで知られていない意外な素顔に迫ります。

#### Part. 1 地図で読み解く東京の大地

「低地」の下町と「台地」の山の手、2つの地形で成り立つ東京/多摩川によって作られた東京に広がる武蔵野台地。玉川兄弟が江戸まで引いた標高差わずか92mの玉川上水。23区内は坂だらけ？900以上の名前を持つ坂がある凸凹を考えて見てみるとおもしろい…など

Part. 2 東京を駆け抜ける鉄道網・交通網  
海の中を走る鉄道だった。馬車鉄道から始まった東京の都市交通機関、60年にわたる路面電車の活躍。関東大震災以降、東京は郊外へと広がった…など

#### Part. 3 東京で動いた歴史の瞬間

編者 昭文社

出版社 昭文社

価格 1980円(税込)

ページ 176頁

発売日 2021年3月1日

判型 B5変形版

ISBN 978-4398-1481-79

## 3. 江戸のいろいろと

### 落語で知る男と女

定番で第一章は吉原案内だが、第二章 四宿、岡場所の女たち、では品川宿が取り上げられている。市井の人々の暮らしを描いた落語では、遊女との駆け引きから、身分違いの恋、夜這い、不倫、男色、夫婦関係に至るまで、深く濃い男女の話が語られている。260年の平和を謳歌した江戸時代の、

男女の色模様を落語から描いている。



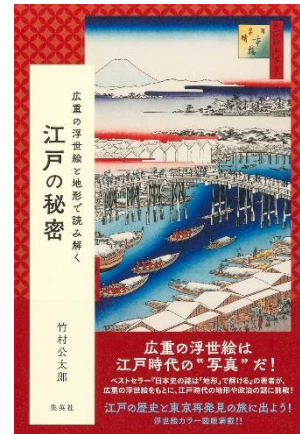
編 者 稲田和浩  
出版社 平凡社  
価 格 968 円(税込)  
頁 数 240 頁  
発売日 2021 年 8 月 1 日  
判 型 新書版  
ISBN 978-4-5828-5983-6

#### 4. 広重の浮世絵と地形で読み解く江戸の秘密

広重の浮世絵は、江戸時代の写真だ!?  
広重の浮世絵を愛好する著者が、ふと発想を転換して浮世絵をみたところ…驚くべき事実が浮世絵に書き込まれていた。さらに専門である土木や治水の知識を合わせて考えると、江戸の地形や歴史の謎が解け、知られざる江戸幕府の政治や仕組みの秘密も見えてくる。汽車は品川沖で何故海の上を通したか?についても記述がある。

編 者 竹村公太郎  
出版社 集英社  
価 格 2530 円(税込)  
頁 数 272 頁

発売日 2021 年 4 月 26 日  
判 型 四六判変型版  
ISBN 978-4-08-781700-3



### 当会ほか関連行事について

#### 当会 第 465 回例会のお知らせ

次回第 465 回例会は、外部講師で下記日程を予定しています。詳細内容・出欠確認は、追って往復はがきで、ご案内いたします。

日 時：10 月 23 日(土) 13 時 30 分-  
場 所：中小企業センター 中会議室  
講演者：未定  
演 題：未定  
参加費：500 円

(復刊 117 号おわり)

品川郷土の会や本誌についてのお問合せは、  
〒140 - 0001 品川区北品川 3-6-13-503  
携帯電話 080-5497-4633 坂本まで  
会長 坂本 道夫

※活動の詳細は「しながわ すまいる ネット」  
をご覧ください。